

# 『波瀾万丈』の弥彦村に2年間

## 県庁に戻る小林総務課長～職員にエール送って

### 小林村長ただただ感謝の気持ち 小林総務課長小林村長のもと健闘を

弥彦村は三十一日午後四時半から役場大ホールで退職者辞令交付式を行い、小林豊彦村長が退職者七人に辞意などを手渡し、村政への貢献に感謝した。二年間の人事交流を終えて県庁に戻る小林保夫総務課長は「チャレンジしていかないと八千人の村は立ちゆかなくなる。チャレンジといふことで頑張っていた」と職員にエールを送った。



花束を受け取る小林総務課長



役場大ホールで行われた辞令交付式



職員と握手して役場をあとにする退職者

今年度の退職者は一般行政部門三人、保育園関係四人。  
小林村長は平成二十七年二月就任後、役場組織の再構築、職員の意識改

革のため、県に総務課長の派遣を要請し、同年四月一日、人事交流の形で小林総務課長が着任。三月三十一日で二年間の人事交流を終え、四月から県庁・県民生活課に異動する。

在職期間は定年退職の四十二年から普通退職の二年。定年退職者三人は四月から再任用で保育園などに勤務する。  
辞令交付式には退職者をはじめ、村長、副村長、教育長、課長職などが出席。初めに辞令交付を行っている。皆さんの人生はまさに、小林村長が小林総務課長を除く退職者一人ひ

ざり元気でさらに活躍することを祈念申し上げた」と述べて退職者六人に感謝状を贈呈。退職者一人ひとりが「長い間ありがとうございました。いろいろ迷惑、心配をかけると思うが、これからは弥彦村への貢献に感謝し、「さらに役場で一緒に働いていただけるといいな」と述べて、熊木議長事務局長は、

「一番良かった競輪事業の思い出を話し、「弥彦村がすつと弥彦村であり続けるように活躍を期待します」と述べた。

最後に小林村長が小林総務課長に辞令を交付。小林村長は「ただただ感謝の気持ちしかない。本当にありがとう」とい

ました。願わくば、この二年間が県庁に戻っても少しでもプラスになるように願っている。県庁に帰ってもますます活躍することを祈りします」と話して辞令を受け取った小林総務課長は「二年間、話の尽きせぬくらい、いろいろなことがあった。県から村民ホールで送別のセレモニーを行った。セレモニーには保育園などの職員も駆け付け、約七十人が参加。退職者



職員と握手して役場をあとにする小林総務課長

小林総務課長は「弥彦村が生き残るために何が必要か。やはりチャレンジ。チャレンジしていかないと八千人の村は立ちゆかなくなる。チャレンジといふことで頑張っていた」と述べた。

小林総務課長は「弥彦村が生き残るために何が必要か。やはりチャレンジ。チャレンジしていかないと八千人の村は立ちゆかなくなる。チャレンジといふことで頑張っていた」と述べた。

小林総務課長は「弥彦村が生き残るために何が必要か。やはりチャレンジ。チャレンジしていかないと八千人の村は立ちゆかなくなる。チャレンジといふことで頑張っていた」と述べた。

小林総務課長は「弥彦村が生き残るために何が必要か。やはりチャレンジ。チャレンジしていかないと八千人の村は立ちゆかなくなる。チャレンジといふことで頑張っていた」と述べた。

三  
条  
小  
の  
歴  
史  
と  
開  
き  
こ  
小  
林  
交  
長

真  
保  
副  
参  
勤  
続

二  
日  
田  
主

勤  
続

辞  
令  
を  
受  
け  
た  
あ  
と  
佐  
藤  
町  
長  
と  
懇  
談  
す  
る  
真  
保  
副  
参  
勤  
続  
真  
保  
副  
参  
勤  
続  
真  
保  
副  
参  
勤  
続